

『レコード・マネジメント』執筆要領

2007年4月作成
2012年2月修正
2015年9月修正
2021年11月修正
学会誌編集委員会

1. 本文中の章、節、項の見出しは、ポイントシステムによって記載する。

例 第1章 → 1

第2章 第3節 → 2.3

第3章 第1節 第2項 → 3.1.2

2. 文章は原則として常用漢字と現代かなづかいを用いる。句読点はテン（、）およびマル（。）を用いる。ただし引用文などでは、原形を尊重し、この限りでない。2021年8月11日とか2021（平成3）年10月3日のような年月日の表記は半角の英数字を用いる。漢数字の場合は全角。
3. 本文中の図書および雑誌名は、和漢書の場合は「 ！ 」に入れ、洋書の場合はイタリックにする。
4. 注・引用文献は一括して、本文の後に通し番号順に記載する。
5. 本文中の注・引用番号の位置は関連箇所の右肩上とし、半かっこを用いて1)、2)、3) ……のように記載する。本文中で同一文献を二度以上引用する場合は、同上、前掲などを使い、初出の番号を「5）前掲注3）、pp.3-5.」あるいは「5）前掲注3）高山正也「記録管理」5頁」、「5）前掲高山5頁」、「5）前掲「記録管理」5頁」などの表記で特定できるように示す。注が連続して同一文献である場合、簡略に「5）同上5頁」とし、同一注内に文献が2つ以上ある場合、「5）同上高山5頁」と該当文献を特定できるように示す。
6. 引用文献の記載方法は、『科学技術情報流通技術基準』の「参照文献の書き方」(https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm)に概ね準拠するが、参照ページを示す場合、p.1、pp.1-10 (p.1-10も可)とする。また1冊すべてを参照する場合、総頁数は不要。和漢書などの図書、雑誌名、論文名、記録、資史料名等に「 ！ 」を付することも可（この場合、テンおよびマルの句読点も可）。その具体例を以下に示す。具体例にない場合は、上記のSIST02基準に準じて記載する。欧文においては、Oxfordスタイル、Harvardスタイルなど、広く用いられている参照文献の記述スタイルによる記載も可とする。（雑誌名はイタリックにするとか、下線を引くとか、またタイトルは引用符で囲むとか、様々な記述方式がある）。後段12も参照されたい。Harvard Referencingについては例えば下記のを参照されたい。
https://libraryguides.vu.edu.au/ld.php?content_id=26290222
なお、DOIや国立国会図書館（NDL）のID、国立公文書館のアジア歴史資料センターのJACARは、読者の便宜を図るために可能な範囲で付記されたい。

〔雑誌論文〕

(1) (和文・中国語など)

- ・江草由佳ほか、Z39.50データベース選択支援環境。情報知識学会誌、2001、vol.11、no.2、pp.1-10。
https://doi.org/10.2964/jsik_KJ00001039398（上述したがp.1-10も可、以下同じ）
- ・江草由佳ほか「Z39.50データベース選択支援環境」、『情報知識学会誌』2001、vol.11、no.2、pp.1-10。

- ・石井幸雄, 浜田行弘, 菅真城, 松岡美佳. 大学における文書管理に関する基礎的研究－関西地区における大学を中心に－. レコード・マネジメント. 2012, no. 63, pp. 79-100.

https://doi.org/10.20704/rmsj63.0_79

なお下記の表記も可。

- ・熱田見子「米国議会図書館が所蔵する戦前期外務省調書とその背景」『外交史料館報』15（外交史料館、2007年）5－7頁。「5～7頁」も可であるが、「－」「～」のどちらかに統一すること。

- ・白木昭男. 機械化と文書管理の新しい提案：マイクロ写真による事務の合理化. 調査季報. 1965, no. 6, pp. 33-41. <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9586572>

（これは DOI の付与はないが、国立国会図書館（NDL）としての ID もできれば付記されたい）

なお、ウェブサイト上で入手の際は URL アドレスの記載例として、DOI があるものは以下を参照されたい。

(2) (欧文)

(Oxford スタイルの例)

- ・Cook, T. and Schwartz, J. M., 'Archives, records, and power: From (postmodern) theory to (archival) performance'. *Archival Science*, vol. 2, no. 3/4, 2002, pp. 171-185. <https://doi.org/10.1007/BF02435620>, (accessed 18 September 2021).

（メモ：no. 3/4は「issue 3-4」と英文で表記される場合もあるが、3・4号合併号であることを示す。）

(Harvard スタイルの例)

- ・Cook, T. and Schwartz JM, 2002. Archives, records, and power: From (postmodern) theory to (archival) performance. *Archival Science*, 2 (3/4), pp. 171-185. Available at: <https://doi.org/10.1007/BF02435620>

下記の表記もある。

- ・Cook, T & Schwartz, J.M 2002. 'Archives, records, and power: From (postmodern) theory to (archival) performance'. *Archival Science*, vol. 2, pp. 171-185. viewed 18 September 2021. <<https://doi.org/10.1007/BF02435620>>.

リスト内で統一されていればよい。

適宜、半角スペースを設けて見やすくする。後段12を参照せよ。

[図書]

(3) 図書の一冊を参照する場合（和書・中国書・洋書など）、総頁数は不要である。

- ・浦昭二ほか編. 情報システム学へのいざない：人間活動と情報技術の調和を求めて. 培風館. 1998.
- ・浦昭二ほか編『情報システム学へのいざない 人間活動と情報技術の調和を求めて』（培風館、1998年）
- ・王英玮編. 専門档案管理. 北京. 中国人民大学出版社. 2004.

なお下記のような表記も可。

- ・王英玮編『専門档案管理』（北京：中国人民大学出版社、2004年）
- ・梁方仲編著『中國歴代戸口、田地、回賦總計』（上海：上海人民出版社、1980年）384-385頁。
- ・『皇明経世文編』陳子龍等輯、全504巻・補遺4巻崇禎11（1638年）（北京：中華書局影印本1962年）。これは漢籍の事例である。
- ・外務省百年史編纂委員会編『外務省の百年 下巻』（原書房、1969年）。
- ・Trachtenberg, M. (2006) *The craft of international history*.

Princeton: Princeton University Press. (Harvard スタイルの場合の事例)

(4) 図書の一冊を参照する場合（翻訳書）

- ・Sunstein, Cass. インターネットは民主主義の敵か. 石川幸憲訳. 毎日出版社. 2003.
- ・Sunstein, Cass (石川幸憲訳)『インターネットは民主主義の敵か』（毎日出版社、2003年）。

(5) 図書の一章または一部を参照する場合

- ・高山正也, “記録管理”, 図書館情報学ハンドブック, 同書編集委員会編, 第2版, 東京, 丸善, 1999, p.37-39.
なお下の引用でも可。
- ・高山正也「記録管理」『図書館情報学ハンドブック』第2版(同書編集委員会編、丸善、1999年)37-39頁。
- ・外務省百年史編纂委員会編『外務省の百年 下巻』(原書房、1969年)10頁。

(インターネット上の文献)

(6) 和文

- ・国土交通省, 告示・通達一覧,
<http://www.mlit.go.jp/notice/index.html>, (参照2019-10-01)。
- ・中井万知子「国立国会図書館におけるメタデータ記述の検討と計画」, デジタル図書館, 2002, no. 22,
http://www.dlslis.tsukuba.ac.jp/DLjournal/No_22/3-mnakai/3-mnakai.html, (参照2007-04-30)。
- ・福岡工業大学「中期経営計画(マスタープラン)」, https://www.fit.ac.jp/daigaku/syokai/master_plan, (参照2021-8-14), (入手2021-8-14)と書いてもよい。以下同じ。
- ・両角亜希子, 財務から見た地方・中小規模大学, 月報私学 2007年8月号, 2017, vol.116, pp.6-7, <https://www.shigaku.go.jp/files/geppou116.pdf>, (参照2021-08-14), なお雑誌を閲覧して引用した場合、(参照2021-08-14)は削除可であるが、インターネットでも簡単に閲覧できる場合、読者の利用のためにhttpsも付すこと。

(7) 欧文

- ・Cox, Richard J. et al. The day the world changed: implications for archival, library, and information science education. *First Monday*. 2001, vol. 6, no. 12.
<https://firstmonday.org/ojs/index.php/fm/article/view/908> [accessed 2021-11-28].
DOI: <https://doi.org/10.5210/fm.v6i12.908>. (DOIもあれば、付記されたい。)

(原史料・記録など)

(8) 和文・中国語など

- ・「太政官公文録年報表」『太政官公文報告』明治12(1879), 1-12頁, 国立公文書館所蔵, 記/85。
- ・1955年9月16日付在米特命全権大使井口貞夫より外務大臣重光葵宛「接收公文書の返還に関する件」『連合軍による文書、図書の査閲接收並びに返還関係雑件 旧陸海軍関係 第二巻』(外務省外交史料館, N.1.0.0.2-4)。
- ・1946年3月27日付「終戦事務連絡委員会連絡事項第123号」『自昭和20年10月6日第14号 至昭和21年8月31日第220号 終戦事務連絡委員会連絡事項綴 史実部 庶務班』(中央-終戦処理-761, 防衛省防衛研究所), JACAR:C15011009200。(国立公文書館や国立国会図書館の史資料は閲覧日(参照)の記載はなくてよい。)
- ・Commander Naval Forces, Far East to SCAP, *Subject: Comments on plan to eliminate the second demobilization bureau (March 8, 1947)*, RG 331, Subject File, 1945-50 (UD-1146), Box 383, Folder 14, United States National Archives of Record Administration, College Park, Maryland [hereafter cited as, NARA 2]. (米国国立公文書館の資料の引用に際しては、RG、Entry番号、Box番号が必要であるが、RG331(占領期のGHQ/SCAP records)の場合、箱番号だけで特定できるので、Entry番号は不要。国立国会図書館憲政資料室で同資料を閲覧した場合、読者がたどり着ける書誌情報を示すこと。その場合も米国国立公文書館で資料の特定に使われる、RG、Entry番号、Box番号がわかれば記載する。)
- ・『蔣中正總統檔案(蔣中正總統公文書)』『蔣中正致蘇俄黨政負責人員意見書』(台湾、国史館), <https://ahonline.drnh.gov.tw/index.php?act=Display/image/1727603jrlXO1s#701> (参照2016-12-20、現在は閲覧不可)。

7. 表はその上部に表1と表記し、標題を書き、下部に必要な応じて出典、出所を明記する。

8. 図や写真は、その下部に図3、写真2などと表記し、標題を添え、下部に出典、出所を明記する。
9. 表、図、写真の挿入箇所を、原稿ファイルの中に赤字などで示す。郵送でプリントアウトを添える場合は、本文中の右欄外に朱記する。なお頁番号をフッター下段中央に付されたい。
10. 論文、研究ノートは、本文冒頭に目次を記載する。
11. 引用が数行に及ぶ時は、本文との間に1行空け本文より2字インデントする。
12. 分野ごとの伝統的な補注表記は、論文内で統一されていれば許容する。書誌情報は上記のSIST02に準拠すること。
 - ・長谷川優也「旧陸軍の秘密書類管理制度と終戦前後の文書償却」『軍事史学』56巻1号、2020（令和2）年、47-70頁。（56巻1号を56-1や56（1）と表記してもよいが、統一すること。西暦で表示した上で和暦を付すことも可。本文中で「』と「』で引用した場合、注では、句読点としてカンマ、ピリオドも可。